

法

学

助 教 授 阿 原 稔

◇ 研究概要

昨年に引き続き、(イ)「医療保障」論と(ロ)「医事法(制)」について、研究を行っている。前者は、社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものである。又、後者は、独自の法領域としての「医事法(制)」の体系化を意図するものである。

心

理

学

助 教 授 中 瀬 惇

◇ 研究概要

実験室は出来たがまだ中身がなく、現在整備を計画中の段階である。他の場所を借り継続中のものを以下列挙する。

- 1) K式検査の標準化
- 2) 心理諸機能の相互連関の研究
- 3) 重症児(者)の行動測定表の作成
- 4) 障害幼児及び母親の group work
- 5) 創造性研究

数

学

教 授 須 藤 修 作
助 教 授 白 井 進

◇ 研究概要

須藤修作：確率変数の和の式を求める計算法のアルゴリズムと、計算機を用いる計算方法について。

◇ 原 著

- 1) Shirai S.: On Galois groups of class two extensions over the rational number field. Nagoya Math. J. **75**: 121-131, 1979.
- 2) Shirai S.: On the central ideal class group of cyclomic fields. Nagoya Math. J. **75**: 133-143, 1979.
- 3) Shirai S.: A remark on the corestriction-deflation sequence. Math. Rep. Toyama Univ. **2**: 23-32, 1979.

◇ 学会報告

- 1) 白井 進, 古田孝臣(金沢大理): 代数体の中心的拡大について, 昭和54年度代数学シンポジウム「整数論および群論」, 1979.8, 札幌。

- 2) 白井 進: ある種の条件を満足する有理素数の class 2 拡大における分解法則について, 日本数学会代数学分科会, 1979. 10, 京都。

物

理

学

教 授 林 光 彦
助 教 授 豊 富 誠 三
教 務 員 田 村 一 郎

◇ 原 著

- 1) Hayashi, M., Machida M., Hasegawa K. and Tsunooka T.: Ferroelectric Phase Transition in $\text{PbZr}_x\text{Ti}_{1-x}\text{O}_3$ under High Pressure. Jpn. J. Appl. Phys. **18**: 1871-1872, 1979.
- 2) Hayashi, M., Tamura I., Fukano Y., Kanemaki S. and Fujio Y.: Mössbauer Effect Study of Lattice Vibration of Fine Particles of Iron. J. Physique **40** Suppl.: C2-661-662, 1979.
- 3) Hayashi, M., Tamura I., Fukano Y., Kanemaki S. and Fujio Y.: Mössbauer Effect study of Lattice Vibration of Small Iron Particles. J. Phys. C: Solid State Phys. **13**: 681-688, 1980.

◇ 学会報告

- 1) 林 光彦, 田村一郎, 深野泰茂, 鍾巻修一, 藤生康雄: Fe微粒子のMössbauer効果における粒子の運動の影響, 日本物理学会第34回年会, 1979. 4, 大阪。
- 2) 林 光彦, 町田充秀, 長谷川金光, 角岡 勉: $\text{PbZr}_x\text{Ti}_{1-x}\text{O}_3$ の高圧下における相転移, 日本物理学会秋の分科会, 1979. 10, 松山。
- 3) 豊富誠三: n型Siのhot electron効果による異方的電気伝導, 日本物理学会, 1979. 10, 松山。
- 4) 豊富誠三: n型Siのhot electronのvalley間遷移による電気伝導度の制御, 日本物理学会応用物理学会北陸支部合同講演会, 1979. 12, 金沢。

化

学

教 授 永 田 正 典
助 教 授 廣 上 俊 一
教 務 員 高 橋 たみ子

◇ 原 著

- 1) Yamazaki T., Takahata H., Hama Y., Takano Y., Nagata M. and Castle. R.N.: Synthesis in the Diazasteroid Group X (1). A Synthesis of 8, 12-